

## 株式会社アイリッジ 2023 年 年頭所感

### 2023 年は、CX (Customer eXperience) に加え、 EX (Employee eXperience) の領域でも OMO が加速

2023 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、少しずつ経済の回復傾向が進む中、当社が主として取り組む OMO の領域では引き続き「DX」をキーワードに引き合いが増加し、集客・販促、業務変革等、各方面でスマートフォンアプリの活用が進みました。  
※OMO (Online Merges with Offline) : オンラインとオフラインの区別をせずあらゆるユーザー体験をデータ化し、そのデータを活用して最適なユーザー体験等を提供する取り組みのこと

特に、従来からアプリファーストとして重視されている消費者向けアプリに加えて、従業員向けアプリにおいても重要性が増し、より柔軟な開発が求められてきています。

その需要に対応すべく、昨年当社ではアプリの裾野を広げる「LINE ミニアプリ」のパッケージサービスを、リテール向け、メーカー向けそれぞれで提供開始しました。今年もこの流れは変わらないものと認識し、対応を拡大していく予定です。

また当社グループのフィンバレーが取り組むデジタル地域通貨の領域では、「地域経済回復」や「スマートシティ」に向けた需要が 2021 年に引き続き伸長し、フィンバレーが支援する事例も全国各地に拡大を続けています。

さらなる事業成長に向け、多様な働き方を推進し競争力を高めるため、当社では、昨年からの副業や地方採用・地方移住を解禁し、優秀な人材の採用強化も進めています。

2023 年は、これらの流れを汲みながら、良き社会の一員として、お客様、株主、従業員、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様と共に成長する一年にしてまいります。

なお、関連する弊社事例をイラスト付きでわかりやすくご覧いただける特設サイトも公開しています。  
DX 企画検討の一助にご覧いただければ幸いです。

#### ▼8 つのトピックを企画のヒントに。DX で、ジャンプ！「年賀特設サイト」

[https://iridge.jp/iridge\\_newyear2023/](https://iridge.jp/iridge_newyear2023/)

本年も引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

令和五年 元旦

株式会社アイリッジ  
代表取締役社長

小田健太郎

